



延藤安弘先生を偲ぶ会

- おわりははじまり -

拝啓 仲春の候 いかがお過ごしでしょうか。すでにご存知のことと思いますが、まちの縁側育くみ隊代表理事の延藤安弘先生(都市研究家・地域プランナー)は、2月8日膵臓癌のため77歳で急逝されました。ご冥福をお祈りします。この度、延藤安弘先生と縁のある皆様にお集り頂き、先生の思い出やエピソードを語り合い、その豊かなお人柄を振り返りたく、下記のとおり「偲ぶ会」を計画いたしました。ぜひ、ご来臨賜りますよう、お願い申し上げます。

2018年3月 敬具

— 記 —

日 時：2018年5月12日(土)

場 所：名古屋銀行協会 (名古屋市中区丸の内2丁目4-2)

プログラム

- 13:00 受付・献花 (お花をささげながらお別れしていただきます。)
- 14:00 式典 (延藤先生の足跡、お別れの言葉など)
- 15:00 延藤の“えんがわ” (交流会)
- 17:00 終了

会 費：3000円 (子ども無料)

申 込：(御出席 ・ 式典のみご出席) をお選び下さり、お名前、住所、メール、電話番号をご記入の上、下記メール・FAXにご連絡下さい。…………… 締切 4月15日

※当日は「(仮称)延藤文庫基金」の立ち上げを兼ねます。日本におけるすまい・まち育て研究・実践の発展のため、活動のアーカイブや、膨大な研究資料・書籍・スライドフィルム等の文庫化を目指します。別紙にてご協力をお願いしております。

※にぎやかな雰囲気を好む先生ですので、平服でお願いします。またお子様連れも歓迎です。

※葬儀はすでに家族葬にて執り行われており、ご遺族はご香典、ご供花、ご供物なども辞退されています。

※多くの方にご出席いただける準備をしております。

交友関係の広い先生だったため、伝達漏れが心配です。

是非皆さんで周知 のご協力をお願いいたします。

<会場アクセス>

名古屋銀行協会 (名古屋市中区丸の内2-4-2)
地下鉄桜通線、鶴舞線「丸の内」徒歩6分
地下鉄名城線「市役所」徒歩8分



主催：延藤安弘先生を偲ぶ会実行委員会 (委員長 | 乾亨)

お問合せ：endohsensei@gmail.com

FAX(052) 308 6586 (名畑恵)

延藤 安弘

(えんどう やすひろ、1940年12月1日 - 2018年2月8日)



住民主体の住まい・まちづくりの実践的研究者、プランナー。コーポラティブ住宅という住み手参加の住まいづくりや、市民が主人公となるまち育ての実践と研究にかかわり続け、亡くなるまでNPO法人まちの縁側育きみ隊代表理事として、活動してきた。工学博士。大阪生まれ。レンゲ畑と川のキラメキと山のシルエットが原風景。

北海道大学建築工学科卒業、京都大学大学院修了。京都大学助手、熊本大学教授、名城大学教授、千葉大学工学部都市環境システム学科教授、愛知産業大学大学院教授を歴任。京都のコーポラティブ住宅ユークート、熊本のもやい住宅Mポート、神戸の真野地区まちづくり、世田谷まちづくりセンター及び同ファンドの設立、武蔵野市公団緑町団地共同建替、高知赤岡町まち育て等、全国各地の住民主体の住まい・まち育てにかかわってきた。最近の活動では、3.11 後仙台荒浜のふるさと再生支援、2004年から亡くなる2018年まで名古屋の都心錦二丁目長者町地区の「まちの会所」を根拠地にして、地元のまちの再生と全国各地のまちの縁側育き等に身をのりだしてきた。また、2008年国立台湾大学客員教授を機縁に、台湾の原住民居住文化の継承と再創造プロジェクトに10年に及ぶ指導を行い、2018年秋には集落の再建設が完成予定。

○主な受賞

- | | |
|----------|--|
| 昭和59年5月 | 日本都市計画学会・石川奨励賞「絵本にみる住宅と都市のつながりに関する研究・啓蒙」 |
| 平成2年5月 | 日本建築学会賞（論文賞）「コミュニティを生成するハウジングに関する一連の研究」 |
| 平成3年2月 | 熊本日々新聞社出版文化賞「まちづくり読本—こんな町に住みたいナ」 |
| 平成4年4月 | 国際交通安全学会賞「絵本にみる交通」 |
| 平成7年5月 | 日本建築学会作品選奨「もやい住宅Mポート」 |
| 平成8年10月 | 日本建築士会連合会まちづくり特別賞「阪神・淡路大震災復興支援コンサート一連の活動」 |
| 平成9年10月 | 兵庫県さわやか街づくり賞「南芦屋浜団地」 |
| 平成10年2月 | くまもとアートポリス推進賞「水俣市営洗切団地」 |
| 平成10年9月 | くまもと県産材振興会賞「水俣市保険センター・総合もやい直しセンター（もやい館）」 |
| 平成10年10月 | 兵庫県さわやか街づくり賞「真野ふれあい住宅」 |
| 平成14年5月 | 日本都市計画学会・石川賞『「まち育て」を育む—対話と協働のデザイン』 |
| 平成18年5月 | 日本建築学会賞（業績賞）「人と縁を育む住まいまち育て活動」 |
| 平成22年5月 | 日本建築学会賞（教育賞）「創造的住まい・まち学習の方法の確立と普及展開」 |
| 平成25年4月 | こども環境学会賞（著作論文賞）「子どもを育むハード・ソフト環境としての集住コミュニティ」 |
| 平成25年6月 | 日本生活学会・今和次郎賞「マンションをふるさとにしたユークート物語」 |

○主な著書

『こんな家に住みたいナ—絵本にみる住宅と都市』『まちづくり読本—こんな町に住みたいナ』『これからの集合住宅づくり』（以上、晶文社）。『集まって住むことは楽しいナ—任宅で都市をつくる』（鹿島出版会）。『ハウジングは鍋もののように—集住体デザイン』（丸善）。『何をめざして生きるんや—一人が変わればまちが変わる』（プレジデント社）。『「まち育て」を育む—対話と協働のデザイン』（東京大学出版会）。『ビジュアル講談／おもしろ町人（まらんちゅ）—住まう・遊ぶ・つながる・変わる。まち育て』（太郎次郎社エディタス）。『まち再生の術語集』（岩波書店）。『こんなまちに住みたいナ—絵本が育む暮らし・まちづくりの発想』（晶文社）

共著：『計画的な小集団開発』（東京大学出版会）、『まちはこどものワンダーランド—これからの環境学習』（風土社）。『人と縁をはぐくむまち育て—まちづくりをアートする』（萌文社）、延藤安弘+まちづくり大楽編著『私からはじまるまち育て—〈つながり〉のデザイン10の極意』（風媒社）、『屋根のない学校—対話共生型住まい・まち学習のすすめ』（萌文社）、『大震災のなかで—私たちは何をすべきか』（岩波書店）、『世界の高齢者住宅—プライバシーと自立の実現』（共訳、鹿島出版会）、『マンションをふるさとにしたユークート物語—これからの集合住宅育て』（昭和堂）、『地域を元気にする 実践！コミュニティデザイン』（彰国社）等。